

5. 総合討論

- (2) 第1259回成医会例会は、平成26年2月18日（火）に行われ「仕事の現場で、気持ちが伝わる英語のキーワード」が講演のテーマとして選ばれた。司会は、相羽恵介（成医会運営委員長）が務め、日本通訳サービス代表、NHK「入門ビジネス英語」講師である関谷英里子氏が講演し、最後に松藤千弥成医会会長（学長）が総括を行った。
- (3) 第131回成医会総会については、平成26年10月9日（木）、10日（金）の2日間にわたって開催の予定。

2) 各種行事

- (1) 平成25年4月4日（木）、平成25年度医学科および看護学科入学式を挙行政した。
- (2) 平成25年7月31日（水）～8月2日（金）、宮崎県穆佐小学校学童2名、教諭2名の本学招待旅行が行われた。この行事は、昭和50年より始められ、今回で39回目となる。
- (3) 平成25年10月5日（土）、同窓会支部長会議・学術連絡会議が開催された。
- (4) 平成25年10月12日（土）、学祖高木兼寛先生の墓参を行った。
- (5) 平成25年10月19日（土）、卒業50周年を迎えた卒業生（昭38年）をお招きし、懇談の集いを開催した。
- (6) 平成25年10月28日（月）、第109回解剖諸霊位供養法会を増上寺において執り行った。
- (7) 平成26年1月31日（金）、景山茂教授、杉崎正志教授、清水光行教授、上出良一教授、本田まりこ教授、落合和徳教授、原田潤太教授、又井一雄教授、加藤孝邦教授、小山勉教授、高木一郎教授、福山隆夫教授を囲んでの退任記念パーティーが行われた。
- (8) 平成26年2月24日（月）、献体者遺族に対して文部科学大臣よりの感謝状伝達式を執り行った。
- (9) 平成26年3月7日（金）、第89回医学科、第19回看護学科卒業式を挙行政した。

3) 印刷物等の発行

- (1) 法人誌「The JIKEI」
 - 1) 平成25年7月に「The JIKEI 21号」を発行した。
特集記事は「新体制にスタートにあたって」とし、松藤学長、丸毛附属病院長の抱負を掲載した。
 - 2) 平成26年1月に「The JIKEI 22号」を発行した。
特集記事は「さらに動き出す本学における臨床教育改革」とし、「本学における臨床教育改革の展望と課題」、「本学における卒前・卒後臨床教育改革について」、「大学改革支援事業と本学の医学教育改革」を掲載した。
同窓、医学部父兄、記念事業募金寄付者、教職員、医療連携病院などに送付した。
- (2) 慈恵ニュース
平成25年7月に「193号」、平成26年1月に「194号」を発行した。
その他、号外として平成25年6月に「春季団体交渉結果」、平成25年7月に「学校法人慈恵大学 中期目標・中期計画・平成25年度事業計画」を発行し、教職員に配布した。
- (3) 大学ガイド
平成25年5月に医学部入試案内として「大学ガイドブック2014」を発行した。
- (4) 大学入試ポスター
平成25年5月にオープンキャンパス並びに入試日程に関わる「大学入試ポスター」を医学科・看護学科別に発行した。
高等学校、予備校等をはじめ、同窓会長、支部長、学術連絡委員に送付した。
- (5) 大学院ガイド
 - 1) 平成25年5月に「大学院看護学専攻修士課程の受験に関するインフォメーション・大学院ガイド」を発行した。

- 2) 平成25年7月に「大学院ガイド・募集要項（博士課程）」を発行した。
 - 3) 平成25年11月に「大学院二次募集要項（博士課程）」を発行した。
- (6) 大学公報
毎月発行（年12回）した。
- (7) 大学ホームページ
- 1) 平成25年4月に3看護専門学校合同のオープンキャンパス申込フォーム(cgi)を掲載した。
 - 2) 平成25年7月より、各附属病院診療部門にて診療医長以上の採用・退職・異動に伴うスタッフ欄のメンテナンスを開始した。
 - 3) 平成25年12月に未来医療研究人材養成拠点形成事業に関するページを新規掲載した。
 - 4) 平成26年2月に医学科・看護学科入試開始時間（定刻・遅延）のお知らせを入試日の朝（状況により随時）に掲載することとした。
 - 5) 平成26年3月末に附属病院（本院）ホームページのリニューアルにおける作業を完了した。（4/1掲載）
ホームページを利用した情報収集が一般化し、大学ホームページへの総訪問者数及び訪問回数は年々増加傾向にある。平成25年度のホームページ新規作成及び更新依頼は約500件あったが、関連部署ならびに関連委員会と連携してホームページ掲載内容の充実を図るとともに、常に最新情報を遅滞なく掲載するよう努めた。
- (8) イン트라ネット
「理事長・学長室」、「行事予定」、「大学公示」、「理事会・教授会議抄録」、「事業計画・事業報告書」「教職員アンケート」「学内使用の各種書式」等の更新業務を担当した。イントラネットは、各部署にて更新した情報が掲載されており、学内での情報共有の有効な手段として活用した。
- (9) オールユーザーメールの活用
講演会、研修会等の開催のほか、教職員のテレビ・ラジオ・講演会等への出演や新聞・雑誌等への掲載情報を主として、平成25年度は446件のオールユーザーメールを発信した。